

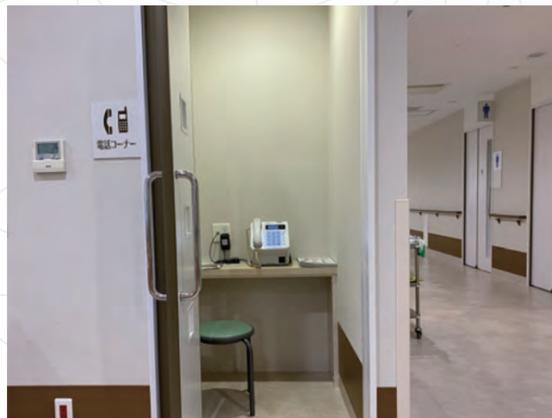
Web 面会始めました

新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化する中、当院においても入院されている患者さんへの面会制限をしております。そこで、2021年7月1日より入院患者さんとそのご家族の方々へ、少しでも安心いただけるように病棟と玄関横のプレハブを結んだ Web 面会サービスを開始しました。

- 面会日
月・火・木・金（祭日除く）14時～15時
1日3枠（完全予約制）
①14時 ②14時30分 ③15時

- 面会時間
1面会5分程度（※週1回まで）

- 面会方法
敷地内プレハブ（ご家族）と病棟（入院患者さん）を結び、当院で用意したタブレット端末をご利用いただきます。ご家族は4人までで、衛生上の観点から、ペットを連れての面会は、ご遠慮ください。



病棟の電話コーナー

ピロティのプレハブ



- 予約方法
2日前までに、入院患者さんから病棟窓口にお申し込みください。
- 予約受付時間
月～金曜日（祭日除く）10時～16時

ご利用に関してご不明な点は、医事課までお問い合わせください。



斗南病院だより

contents

委員会紹介「がん診療連携指定病院」／胃がん症例数が全国6位になりました！／Web面会始めました



美ら海水族館

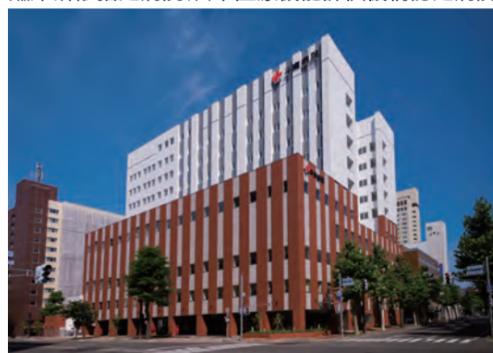
斗南病院

国家公務員共済組合連合会

060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目3-8
代表電話 011(231)2121 Fax 011(231)5000

診療科目
消化器内科、腫瘍内科、呼吸器内科、リウマチ科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、血液内科、内科、精神科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、内視鏡外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、婦人科（生殖医療）、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科、麻酔科

地域医療支援病院、北海道がん診療連携指定病院、臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院



斗南病院は、がん診療連携指定病院です。
当院は、北海道より平成22年8月30日、「北海道がん診療連携指定病院」に承認されました。
がん診療においても、低侵襲で患者さんのからだにやさしい治療を実践しています。

発行 斗南病院広報委員会

委員会紹介

がん診療連携指定病院 (Cancer Board)

がん診療にかかわるさまざまな問題を全病院的に検討し、解決するためのカンファレンスです。高度で質の高いがん治療を行う病院には必須の委員会です。当院では腫瘍内科を中心に活動しています。

ここでは治療内容に関するだけでなく、精神的ケアや経済的問題なども専門職を交え検討されることもあります。また、院内で新しく行われる治療法に関する勉強会も行い、新しい治療でも的確に実施しています。このように部門間の連携を図り、高度で専門的ながん治療を支える役割を担っています。

構成員 ・委員長 辻 靖（腫瘍内科） ・委員 診療部（消化器内科、腫瘍内科、血液内科、呼吸器内科、外科、乳腺・呼吸器外科、耳鼻咽喉科、婦人科、泌尿器科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科）、看護部、薬剤部、リハビリテーション部、栄養部、事務部、その他の関係する部門など



表紙の写真

クラゲは、プランクトンの一種。プランクトンとは、遊泳能力がない、あるいはとても弱く、自力で泳ぐことができず水中で遊泳生活をおくるものと定義されています。綺麗な白い斑点は、カルシウムとも言われ、傘を守っているとも。水族館で、ゆらゆらと泳ぐ様子は、いつまで見ても飽きることはないですよ。

撮影：清水 匡（診療部）

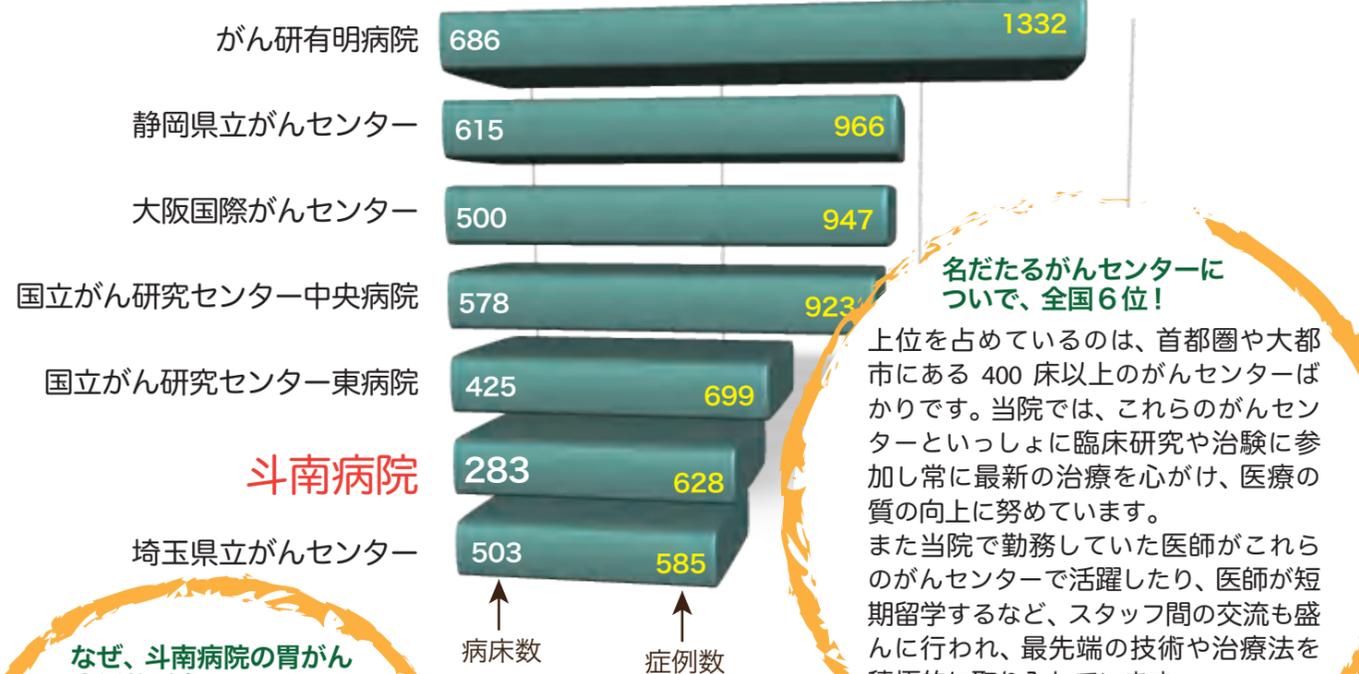
胃がん症例数が全国6位になりました！

厚生労働省から毎年発表されている疾患別症例数で、今年斗南病院が胃がん症例数で全国6位になりました。前々年は8位、前年は7位となり、今年1つランクアップしました。これも、連携医のみなさまや地域みなさまに選ばれた結果であると心より感謝申し上げます。

これに満足せず、スタッフ一同、これからもより良い医療を提供できるよう日々研鑽を重ねてまいります。

胃がん症例数

令和元年度厚生労働省から公表されたDPCデータ全国集計より*



名だたるがんセンターについて、全国6位！

上位を占めているのは、首都圏や大都市にある400床以上のがんセンターばかりです。当院では、これらのがんセンターといっしょに臨床研究や治験に参加し常に最新の治療を心がけ、医療の質の向上に努めています。また当院で勤務していた医師がこれらのがんセンターで活躍したり、医師が短期留学するなど、スタッフ間の交流も盛んに行われ、最先端の技術や治療法を積極的に取り入れています。

なぜ、斗南病院の胃がん症例数が多いのか？

当院の消化器病センターでは診療科の垣根をこえた診療を行っています。院内には各分野に専門医が多数おり、胃がん治療中の患者さんに対しても全病院を挙げて診療を行っています。

また、放射線診断科や病理診断科には常勤の専門医が複数在籍しており、正確な診断で高度な専門治療を支えています。

早期発見が重要です！

胃がんの原因は、ピロリ菌や喫煙、多量の塩分摂取などが挙げられます。ピロリ菌がいる場合は、除菌治療をお勧めしますが、定期的な検診や人間ドックによる早期発見が重要です。

*DPCデータ全国集計って？

DPC対象病院では毎月、どんな疾患の患者さんにどのような診療行為を行ったかなどを、匿名化し決められた形で厚生労働省に提出しています。

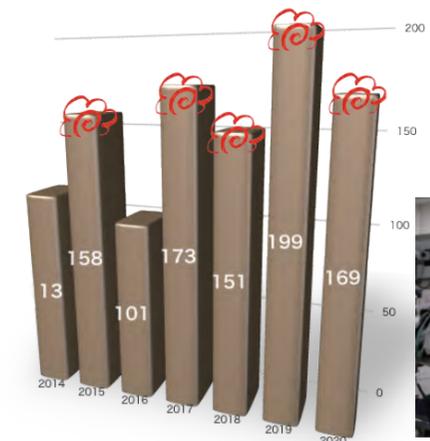
厚労省では、毎年各病院から提出されたデータを集計し病院名入りで患者数を公表しています。公表する目的は、どの病院がどんな疾患の患者さんをどれだけ診療しているかがわかることで、患者さんが病院を選ぶ際の参考になることや、医療の透明性がはかれることなどにあります。



当院における胃がん治療の最前線

消化器内科

胃がんに対するESD 堂々の4年連続道内第1位！



胃がんにおける内視鏡治療数の推移

早期胃がん**に対するESD症例数でも、当院は4年連続道内第1位となりました。昨年はコロナ禍でありましたが、感染対策を行いつつ通常通りの検査、治療を行っています。

また当院は、ESDを道内で初めて導入した病院です。高度な医療技術であるESDをどの施設でも安全に行えるように、技術の普及と継承も重要な責務と考え、毎年、ESDライブセミナーや講演会等を行い医療従事者に対する教育活動にも力を入れています。



手術室でのESDの様子

外科

胃がんに対するロボット手術

当院では、胃がんに対してda Vinci Xiによるロボット手術を取り入れています。もともと、内視鏡外科手術を積極的に行っており、そこで培った技術と手術室スタッフで安全に行っています。ロボット手術を行うには、厳しい施設基準がありますが、当院では、「胃」をはじめ「食道」、「大腸」、「膵臓」と消化器4領域を実施している数少ない施設です。

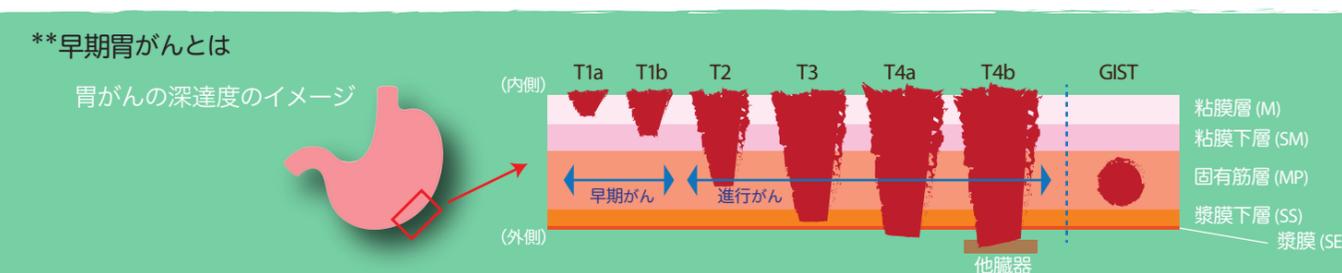


ロボット手術の様子

腫瘍内科

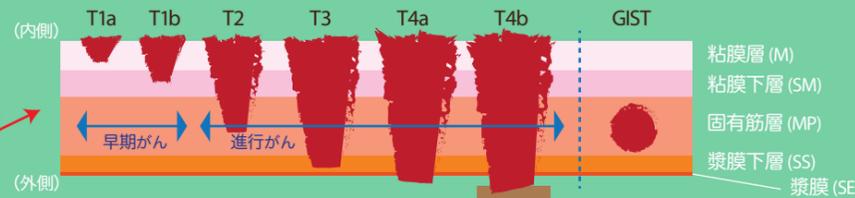
胃がん・腹膜播種に対する腹腔内化学療法

腫瘍内科では、腹膜播種を伴う胃がんに対し、腹腔内に直接抗がん剤を投与する新しい化学療法を道内で唯一実施しています。播種が制御されコンバージョン手術が可能となった症例では、長期生存が期待できます。



**早期胃がんとは

胃がんの深達度のイメージ



消化器内科と外科のコラボレーション LECS ~内科・外科合同手術~

内視鏡と腹腔鏡を用いて、内科医と外科医で同時に手術を行い、主にGISTで行われています。LECSの最大の利点は、手術時、病変部位を胃の内側と外側から同時に観察することで、複雑な腫瘍の形で切除範囲を最小限に抑えることができ、患者さんにとって術後の機能温存がはかれる点です。内科、外科とも高度な技術を要しますが、当院では安全に行われ積極的に行っています。



腫瘍内科と外科のコラボレーション

コンバージョン手術

切除不能の進行がんに対して、これまでは延命を期待する緩和的治療が主体でしたが、最近では化学療法で手術可能な状態とし、外科手術を行い長期生存や根治を目指すコンバージョン治療が注目されています。当院でも、腫瘍内科と外科が積極的に取り組み成果をあげています。